

「滋賀県水源林公的機能評価」についてのアンケート結果

県では、県民の皆さまの暮らしや経済活動を支える大切な水源である琵琶湖の持続的な管理のため、美しい琵琶湖をささえる水源林である県内の森林の役割に注目し、琵琶湖森林づくり事業を行っております。平成 28 年度にはこの取組みは 10 年の節目を迎えることとなり、これまでの成果と課題について一旦総括し、今後につなげていく必要があります。

そこで、水源林の保護・再生の取組の成果が、皆さまにとってどれくらいの価値があるのかを把握することを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：平成 27 年 1 1 月

★対象者：県政モニター 397 人

★回答数：323 人（回収率 81.4%）

★担当課：森林政策課

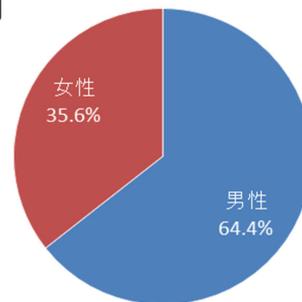
（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

【属性】

◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	208	64.4
女性	115	35.6
合計	323	100.0

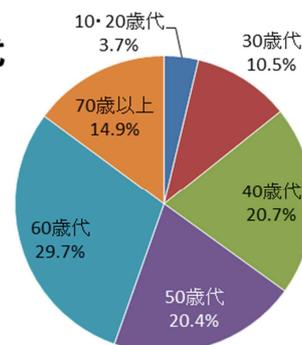
性別



◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20 歳代	12	3.7
30 歳代	34	10.5
40 歳代	67	20.7
50 歳代	66	20.4
60 歳代	96	29.7
70 歳以上	48	14.9
合計	323	100.0

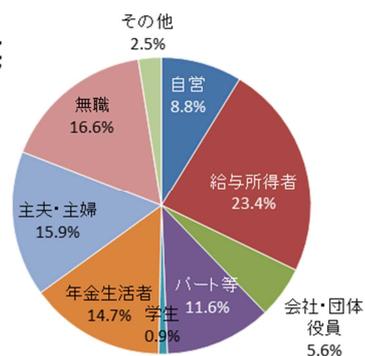
年代



◆職業

項目	人数（人）	割合（％）
自営	28	8.8
給与所得者 （会社員など）	75	23.4
会社・団体役員	18	5.6
パート・アルバイト・フリーター	37	11.6
学生	3	0.9
年金生活者	47	14.7
主夫・主婦	51	15.9
無職	53	16.6
その他	8	2.5
合計	320	100.0

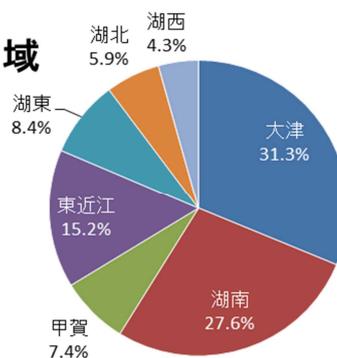
職業



◆地域

項目	人数（人）	割合（％）
大津地域	101	31.3
湖南地域	89	27.6
甲賀地域	24	7.4
東近江地域	49	15.2
湖東地域	27	8.4
湖北地域	19	5.9
湖西地域	14	4.3
合計	323	100.0

地域



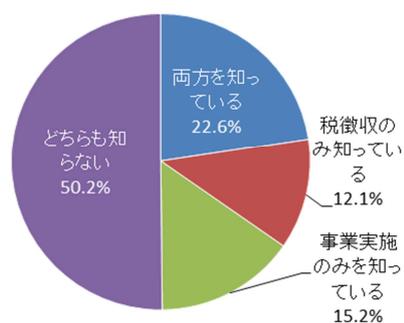
【問1】 滋賀県では、平成18年度から、住民税に上乗せする形で県民の皆さまから「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「環境重視」と「県民協働」の視点に立った「琵琶湖森林づくり事業」に取り組んでいます。このことについて、あなたは、どの程度ご存じですか。(回答チェックは1つだけ。 n=323)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 税を徴収されていること、その税を活用して事業を実施していることの両方を知っている	73	22.6
2. 税を徴収されていることのみを知っている	39	12.1
3. 事業を実施していることのみを知っている	49	15.2
4. どちらも知らない	162	50.2
合計	323	100.0

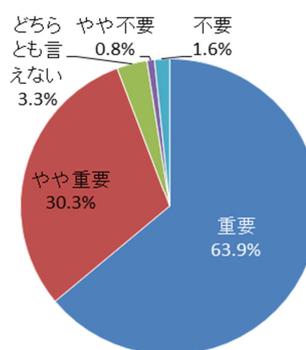
【問2】 問1で、「1」「3」を選択された方におたずねします。あなたは、「琵琶湖森林づくり事業」を重要だと思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=122)

項目	人数(人)	割合(%)
重要	78	63.9
やや重要	37	30.3
どちらとも言えない	4	3.3
やや不要	1	0.8
不要	2	1.6
合計	122	100.0

問1



問2



【問3】 適切に管理された、良質な水源林を維持・再生するために、仮にあなた個人から負担金を支払っていただく必要があるとします。年にどれくらいの支払いに応じていただけますか。（回答チェックは1つだけ。 n=323）

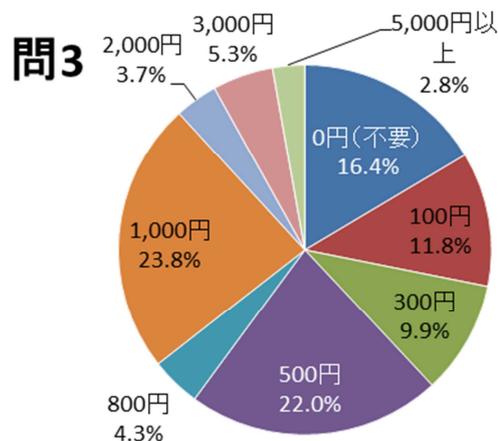
（既存の税に関係なく、良質な水源林のために支払う負担金についてお伺いしたものです。新しい税を導入するという意味ではありません。）

項目	人数（人）	割合（%）
0円（不要）	53	16.4
100円	38	11.8
300円	32	9.9
500円	71	22.0
800円	14	4.3
1,000円	77	23.8
2,000円	12	3.7
3,000円	17	5.3
5,000円以上	9	2.8
合計	323	100.0

※平均値は一人あたり 839 円

◇ 自由記述 （「5,000円以上」を選んだ方のみ）

- ・ 5,000円（4人）
- ・ 6,000円（1人）
- ・ 10,000円（2人）
- ・ 12,000円（1人）（毎月1,000円×12ヶ月＝12,000円程度）
- ・ 琵琶湖の良好な環境作りの源となる水源林の再生は県の将来に大きく影響する根幹なので県民として環境再生へ支援したい。

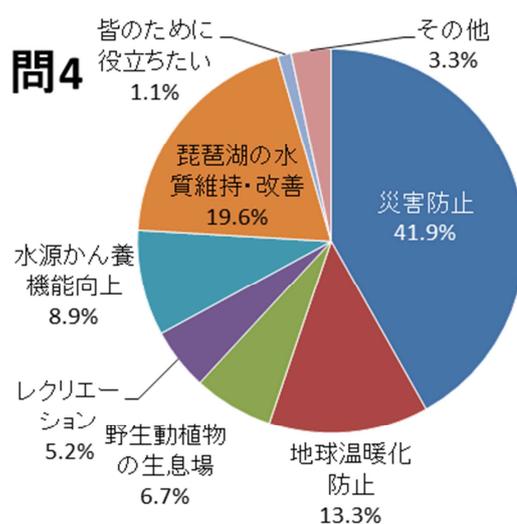


【問4】 問3で「100円」～「5,000円以上」を選択された方におたずねします。支払うと回答した理由は何ですか。（回答チェックは1つだけ。 n=270）

項目	人数（人）	割合（%）
森林を健全に保つことで、山崩れや洪水などの災害を防ぐはたらきが向上するから	113	41.9
森林を健全に保つことで、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止するはたらきが向上するから	36	13.3
健全な森林は、貴重な野生動植物の生息の場となるから	18	6.7
健全な森林は、心身の安らぎや、レクリエーションの場を提供するから	14	5.2
森林の水源かん養機能が向上するから	24	8.9
琵琶湖の水質が維持・改善されるから	53	19.6
特に水源林の保全・再生の必要性は感じないが、皆のために役立ちたいから	3	1.1
その他	9	3.3
合計	270	100.0

◇ 自由記述（「その他」を選んだ方のみ）（抜粋）

- ・ 問4の選択肢はどれも重要・必要なことで、どれか一つを選ぶことは困難です。
- ・ 水質が保全され琵琶湖の生物にもよい影響を与えるため
- ・ 過去の失敗政策の是正に出せる最低限の価格



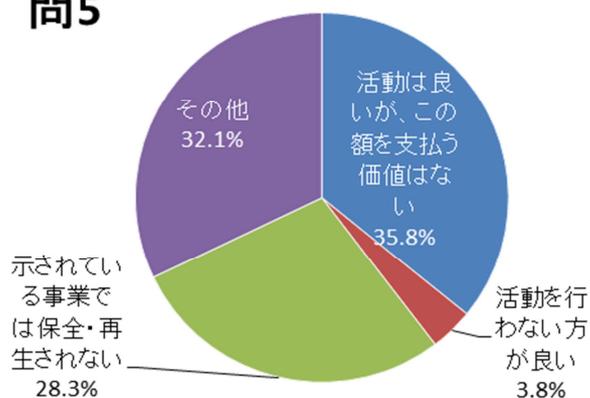
【問5】 問3で「0円（不要）」を選択された方におたずねします。支払わないと回答した理由はなんですか。（回答チェックは1つだけ。 n=53）

項目	人数（人）	割合（％）
今後、水源林の整備・維持活動が行われる方が良いと思うが、この額を支払う価値はないと思うから	19	35.8
今後、水源林の整備・維持活動を行わない方が良いと思うから	2	3.8
ここで示されている事業では水源林が保全・再生されるとは思わないから	15	28.3
その他	17	32.1
合計	53	100.0

◇自由記述（「その他」を選んだ方のみ）（抜粋）

- ・ 現在無料の琵琶湖入漁料をとったら良いのでは。
- ・ あえて個別に支払う必要があるのか疑問である。

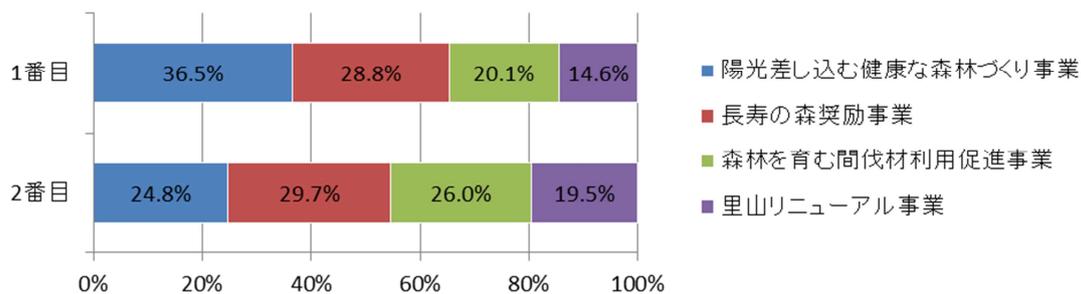
問5



【問6】 「環境を重視した森林づくり」のうち、あなたが重要だと思われる順に、1番目、2番目を選んでください。(回答チェックはそれぞれ1つだけ。 n=323)

項 目	1 番 目		2 番 目	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
陽光差し込む健康な森林づくり事業 (針葉樹と広葉樹が混じりあった環境林への転換)	118	36.5	80	24.8
長寿の森奨励事業 (保水性に富んだ林齢の高い森林への誘導)	93	28.8	96	29.7
森林を育む間伐材利用促進事業 (間伐材の搬出と利用)	65	20.1	84	26.0
里山リニューアル事業 (里山の環境保全)	47	14.6	63	19.5
合計	323	100.0	323	100.0

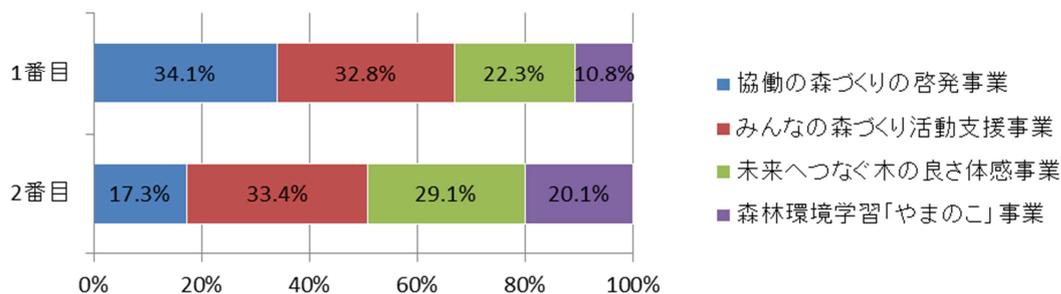
問6



【問7】 「県民協働による森林づくり」のうち、あなたが重要だと思われる順に、1番目、2番目を選んでください。(回答チェックはそれぞれ1つだけ。 n=323)

項 目	1 番 目		2 番 目	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
協働の森づくりの啓発事業 (森林の大切さの普及啓発)	110	34.1	56	17.3
みんなの森づくり活動支援事業 (県民の皆さまの森林づくりへの参画促進)	106	32.8	108	33.4
未来へつなぐ木の良さ体感事業 (木の温もりや良さを体感する機会の提供)	72	22.3	94	29.1
森林環境学習「やまのこ」事業 (森林環境学習の推進)	35	10.8	65	20.1
合計	323	100.0	323	100.0

問7



【問8】 その他、「琵琶湖森林づくり事業」等について、ご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

意見	
肯定意見	
	山里で育った者にとって、この取り組みには全て共感します。協力できることは進んで活動したいと思います。
	子供の時から森林の大切さの教育と森林に親しむ機会を多く設け、県民ひとりひとりが、森林保全に理解をもつ事が大切です。滋賀県の山々へ登るとき、手入れされた綺麗な森林を見ると、すがすがしいものです。
	適正な間伐を行って行く事が大事だと思います。森林資源の有効活用もお願いします。伐採されたまま放置されているのをみかけますが、資源を利用出来るように伐採後も考えての間伐等進めて頂きたいと思います。
	近畿の水がめである琵琶湖の周りは森林であるから、森林のあり方で水質が大きく変わる。県民として、ささやかではあるが資金に協力したいし、受益者負担の意味では下流域の皆さんのご理解も頂きたい。
	森林環境学習「やまのこ」に関して、子どもたちがとても楽しみにしていて、小学校生活の中でも心に残る行事であると聞いています。子どもたちが森林のことを身近に感じられ、楽しく学べる本当に良い機会であると思います。
否定意見	
	短期、中期、長期目標と、その達成度に応じた見直し期間が不明確なので、賛同しにくい事業計画です。
	県の予算がどれくらい使われているのかが分からない。 森づくり事業にいくら使っているのか？ 使う値打ちがあるのか、わからない。
	閑散的に資金を投入しても、ある意味では目的を達成しないまま、資金が蒸発してしまうのではないかと。誰のための里山。何のための里山。単純に「いいことだから、やりましょう」の感は否めない。
PR	
	滋賀県には豊かな自然環境があり、森林も豊富である。 母なる琵琶湖の環境保全と同じぐらいに森林の保全・再生は大切な事業であり、県民一人ひとりがもっと重要性を感じないといけないと思う。一層の情報開示、意識啓発をお願いしたいと考える。
	非常に重要な事業だとは思いますが、現在滋賀県が行っていることが県民に広く周知されているかといえばそうとも言えないように思える。

提案
<p>家のすぐそばには山が迫ります。きちんとした森林の管理は災害を防ぐことに直結すると実感しています。</p> <p>獣害が激しく自然との共存はなかなか難しいと思うもののこのまま放置することはさらなる荒廃を促すだけになってしまいます。本当に必要とするならば、他人に山に入られては困るなどと未だに古い考えの人たちに、このまま放置すればこの先どうなるかを、きちんとわかってもらう必要があると思う。</p>
<p>環境保全は、琵琶湖を持つ滋賀県にとって、特に大切だと思う。一方で、滋賀県の観光産業もより活性化してほしいので、森林づくりにおいても、自然そのものの地力が損なわれないようにしながらも、景観づくりを進めてほしい。</p>
<p>木の博物館を作る。博物館は‘木の未来形’として造る。緑が豊かな、湖北か高島地域に作る。なんでも南にあるのは不都合。</p>
<p>滋賀県は、近年、シカや日本サルやハクビシンの増え方が激しいように感じております。農作物への被害も深刻です。例えば、特に放置されている杉林における、適度の伐採や枝打ちなどの手入れを、所有者に義務付ける県条例など手立て出来ませんか？里山の回復の為の具体的施策を「琵琶湖森林づくり事業」に織り込んで頂きたいとお願いたします。</p>
<p>滋賀県独自のとても良い取り組みだと思います。滋賀といえば琵琶湖ですが、健全な森があって琵琶湖の環境が保たれるのだと思います。木こり(森の管理をする職業)や木で家を建てる職人などの職業育成・若者育成にぜひ力を入れていただきたいです。長い目で日本を支える・地球や世の中の役に立つ人材を育むことができると思います。</p>
<p>大人を含め森林に接する、機会の少ない在住者も多いと思われます。比較的機会の少ない幼、小、中学校、地域、の住民等森林に関する参加行事をより多く開催しては・・・</p>
<p>木材を積極的に利用するよう木材の利点を広める。</p>
<p>簡単に山歩きできる環境（整備された歩道など）があれば、もっと山に興味が出るのでは。</p>
<p>森林づくりおよび琵琶湖の水資源問題は、大変重要ですが長い期間の取り組みと近隣県含めた理解が必要となり県民だけの問題でなく近畿圏を巻き込む議論が必要です。</p>
<p>滋賀県の森林について、外国人の所有状況はどうか？某国が北海道・東北等で水源地の名目で入手を図っているらしいが、それに対する規制などは検討されていますか？</p>
<p>地球環境保全には大気、海洋、山地を循環する自然環境が大切である。海洋に接していない滋賀県も琵琶湖、瀬田川、淀川を通して海洋につながっています。その水の循環を始まる滋賀県の樹木は大切な役割を担っています。</p>